

【緑地の樹】

ウグイスカグラ(鶯神楽)

プロフィール：スイカズラ科スイカズラ属
落葉低木 日本固有種
古名：ウグイスノキ、ウグイスガクレ

「あ～春が来たんだなあ！」と、毎年この花を見るたびに同じ言葉が出てしまう。漏斗形の花冠の先に星型に開いた淡紅色の小さな花。



第一公園から中央広場に続く道に沿って、2mほどに育ったウグイスカグラが5株ほど、3月になると花開き始める。まだまだ寒く、花の少ない林の中で、いち早く咲き始めるこの花は、通る人の目を楽しませてくれる。枝が密に茂ってはいても自己主張をしない、その姿は茶人にも愛され、茶庭に植えられたり、茶花や生け花にも使われる。

ウグイスが鳴く頃咲くからとか、ウグイスを掴まえる狩座(かりざ)のカリザがなまったとか、枝から枝へ飛び回るウグイスの姿が神楽の動きに似ているからとか、名前の由来

は諸説有り。

島根県の石見や広島県辺りの神楽、或いは岩手県の早池峰神楽など、日本各地の舞い手の勇壮な足の動きは、確かにぴよんぴよん飛び跳ねるウグイスの姿と通じるものがある。

残念ながら、私は未だにこの木と戯れるウグイスを目にした事がない。初夏に、赤く熟した甘い実をウグイスが食べに来るか、離れた場所で眺めていたことがあるが、5分もしないうちに諦めてしまった。

ウグイスカグラとウグイスのツーショットを見たことがある方がおられたら、知らせて下さい。

(かつた)



もうすぐおいしい実がなります

ね